

単元名 おおきくらべ(1)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 長さ・かさの概念を理解し、具体物の長さ・かさの比較ができる。
 (2) 長さ・かさの比較を通して、測定の基礎となる考え方を身に付けることができる。
 (3) 長さ・かさの比べ方に興味をもち、そのよさを知り、進んで生かそうとする。

標準的な展開例

01040204_001

【準備等】鉛筆、ひも、はがき、ノート2冊、紙テープ、教卓、机、ジュースのびん、受け皿、バケツ、雑巾、洗剤やシャンプーなどの空き容器、コップ、水筒

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 2つの物の長さを比較する。[p. 82・p. 83]</p> <p>○鉛筆やひもの長さ比べをする。</p> <p>○はがきや紙などの縦と横を折り重ねて長さを比べる。</p> <p>○単元の学習課題をつかむ。 ★ながさ・かさをくらべていこう。</p> <p>2 間接比較を身近なことに活用する。[p. 84]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★おおきなもののながさをくらべよう。 ○大きな物の長さを比べる方法を話し合う。</p> <p>○教卓が入り口から出せるかを考える。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>3 任意単位を用いて長さを比べる。[p. 85]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★もともになるながさをきめて、ながさをくらべよう。 ○身近にある物を基準にして長さを比べる。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p> <p>4 かさを直接比較と間接比較で比べる。[p. 86]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★みずのかさをくらべよう。</p> <p>○一方の水の量を、もう一方の容器に移し換えて、直接比べる。</p> <p>○同じ大きさの入れ物に入る水の量を比べる。</p> <p>5 かさを任意単位を用いて比べる。[p. 87]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★もともになるかさをきめて、かさをくらべよう。 ○水の量を、同じコップのいくつ分にあたるかで比べる。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<p>・どちらが長いかを直感的に予想させた後で、操作活動をしてその根拠を確かめさせる。</p> <p>・2本の鉛筆やひもについてどちらが長い予想させ、比べるときには端をそろえて比べればよいことに気付かせる。</p> <p>・間接比較や任意単位による比較の考えが出た場合は、認めながらも、1枚のはがきで合わせて比べられないかを考えさせる。</p> <p>【評】直接比較や間接比較をする活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <p>・対象物の長さをテープで測り取って判断するよさに気付かせる。</p> <p>・動かすのは重くて大変なので、動かす前に比べられないかを考えさせる。</p> <p>・紙テープなどの媒介物を利用するとよいことを確認する。</p> <p>【評】身近な物を間接的に比較する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・直接比べることのできない物の長さを比べることで、任意単位の必要性を実感させる。</p> <p>・前時までとの違いについて、全員が理解できるように話し合う。</p> <p>・広げた手のひらや鉛筆など、基準を決めていくつ分かを比べさせる。</p> <p>・方眼上に置かれている物の長さを比べる練習問題を用意するとよい。</p> <p>【評】マス目の数で長短を判断する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・児童が、どちらの容器にたくさん入るか知りたいという場面を設定し、興味と関心をもたせてかさ比べをさせる。</p> <p>・ジュースのびん、洗剤やシャンプーなどの空き容器、コップなどを使って、どの容器に一番水がたくさん入るかを考えさせるとよい。</p> <p>・水の高さで比べればよいことに気付かせる。</p> <p>【評】水のかさを比べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・任意単位によるいくつ分かでかさ比べをする中で、数量化して比べることのよさに気付かせる。</p> <p>・長さ比べの経験を基に、入れ物に入った水の高さで比べる方法より、もっとよい比べ方がないかを考えさせる。</p> <p>【評】コップを単位としてかさを比べる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【備 考】

本単元は、長さ・かさの比較を通して、測定の基礎を培うとともに、任意単位を用いてそれらの大きさを比較する学習である。まず直接比較を学習して概念を身に付け、次に任意単位を用いて間接比較するように単元を構想する。測定とは量の大きさを「単位となる量のいくつ分」という数値で表すことである。そのため、単位量のいくつ分だからどちらが大きいと考えさせることが大切である。